公益社団法人神奈川県助産師会主催
2023 年度神奈川県周産期医療従事看護職員資質向上研修委託

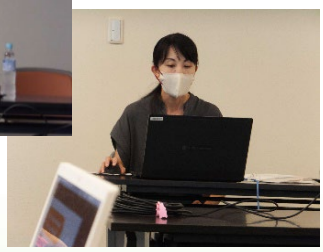
日時：９月９日（土）　13：00～16：15
会場：オンライン ZOOM 開催

災害時対応
～災害発生時、助産師はどのように対応する必要があるかを学びます～

講演１：災害発生に備えた基礎知識
講師：横浜市立大学大学院医学研究科産科婦人科学講座
　　教授　倉澤健太郎氏

講演２：災害時対応に必要な助産師の備え
講師：独立行政法人国立病院機構　横浜医療センター
　　助産師　羽太千春氏

参加者数：　49 名（会員 27 名、非会員 22 名）



主催者から

今回は、オンライン開催のため様々な施設から多くの方にご参加いただきました。
倉澤先生からは災害時における周産期医療体制の現状と周産期医療機能区分による役割の違いと連携の必要性について、ご自身の被災地支援の経験を交えてわかりやすくお話し頂きました。羽太先生からは、災害に備えるための助産師の役割と行動を具体的にお話し頂きました。グループワークでは、自施設における災害への備えを共有し、参加された皆様が互いに刺激しあう様子が伺えました。平時からの施設間の情報共有が災害時の妊産婦・子どもの支援につながると改めて感じました。

参加者から

・災害対策に関して学ぶ機会が少なかったため、基本的なところから、知識を得ることができました。
・震災から時間が経つとやはり防災意識は下がります。今回の研修を通して今一度考えなおす機会になりました。
・グループワークを通して勤務先での現状を振り返ることができました。今日からでもすぐに実践・活用できる内容でした。
・グループワークでは他施設の状況を知ることができとてもよかったです。
・発災した後に何を行ったらよいか具体的に知ることができました。自部署のスタッフに伝達し、災害への備えを一緒に考えていきたいです。